

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公開番号】特開2012-51306(P2012-51306A)

【公開日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2010-197269(P2010-197269)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月13日(2013.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体噴射装置の外部から液体を前記液体噴射装置に供給するためのタンクユニットであつて、

1列に配置された2以上の液体収容容器を備え、

前記各液体収容容器は、

一側面が開口した凹状形状の容器本体と前記開口を塞ぐフィルムとによって形成された前記液体を収容するための液体収容室を、有し、

前記容器本体は、

前記液体収容室を挟んで前記フィルムと対向する対向壁面部であつて、前記開口よりも大きい壁面を有する対向壁面部を有し、

前記対向壁面部は、前記対向壁面部を挟んで前記液体収容室とは反対の側から見た場合に凹状形状であり、

1の前記液体収容容器の前記フィルムが、隣り合う他の前記液体収容容器の前記対向壁面部によって覆われ、

1の前記液体収容容器の前記フィルムが貼り付けられた前記一側面が、隣り合う他の前記液体収容容器の前記対向壁面部の凹部に入り込むように、前記2以上の液体収容容器が配置されている、タンクユニット。

【請求項2】

請求項1に記載のタンクユニットであつて、

前記各液体収容容器は、さらに、

隣り合う前記液体収容容器との間で、取り付け、取り外しを行うための嵌合ユニットを有し、

前記嵌合ユニットは、

突起部と、

隣り合う前記液体収容容器の前記突起部が嵌め込まれる孔部と、を含む、タンクユニット。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載のタンクユニットであつて、

前記1列の片側の端には、前記フィルムが他の前記液体収容容器の前記対向壁面部によ

って覆われていない前記液体収容容器である露出液体収容容器が配置され、

前記タンクユニットは、前記露出液体収容容器の前記フィルムを覆う蓋部材を備える、タンクユニット。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載のタンクユニットであって、

前記各液体収容容器は、さらに、

前記液体収容室に液体を注入するための液体注入口と、

前記液体注入口を塞ぐための栓部材であって、前記液体注入口に脱着可能に取り付けられる栓部材と、を有し、

1の前記液体収容容器の前記栓部材と、隣り合う他の前記液体収容容器の前記栓部材とは連結部材により連結されている、タンクユニット。

【請求項5】

液体噴射システムであって、

請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載のタンクユニットと、

対象物に前記液体を噴射するためのヘッドを有する液体噴射装置と、

前記タンクユニットと前記液体噴射装置とを接続し、前記液体収容室に収容されている前記液体を前記液体噴射装置に流通させる流通管と、を備える、液体噴射システム。

【請求項6】

請求項5に記載の液体噴射システムであって、

前記液体噴射装置は、プリンターであり、

前記液体収容室に収容される前記液体はインクである、液体噴射システム。